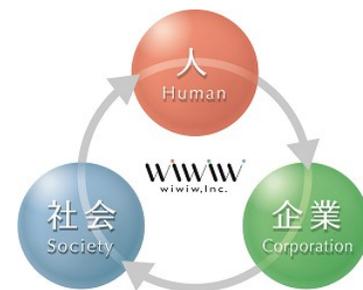


100社の取り組みから見た  
仕事と介護の両立支援のポイント  
～情報提供、相談体制～

2017年3月30日  
(株)w i w i w 社長執行役員  
山極 清子

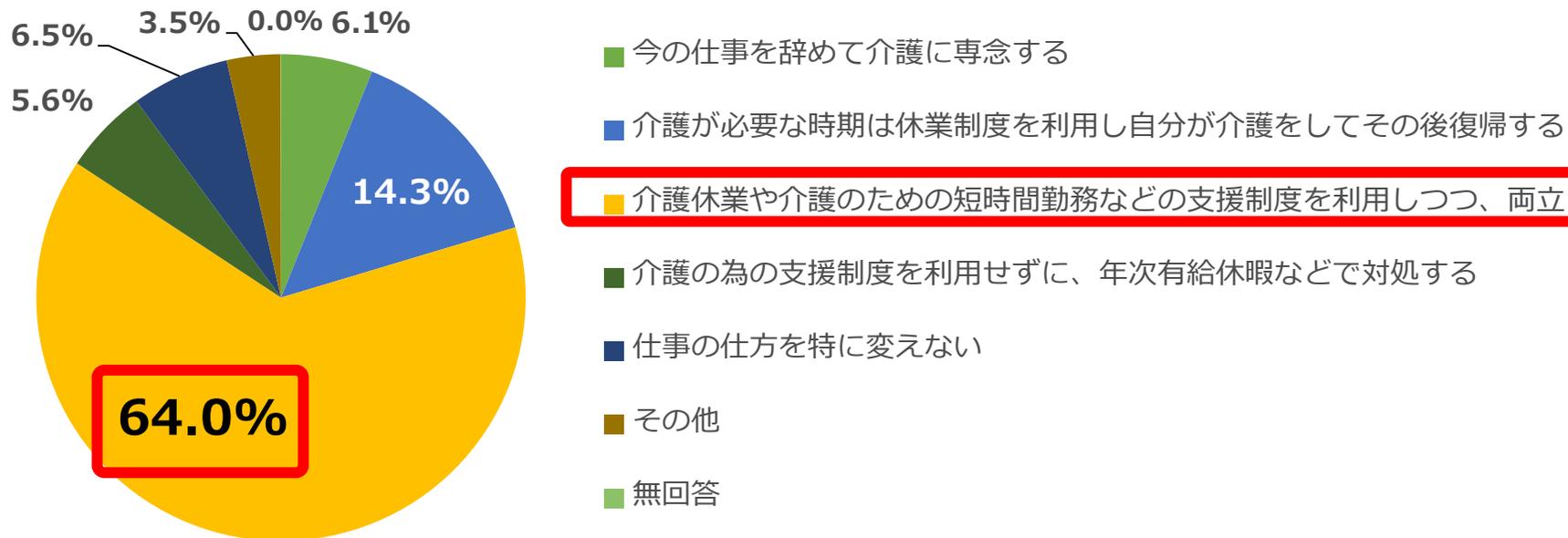


# 介護の課題に直面した時の希望する働き方

- 「介護休業や介護のための短時間勤務などの支援制度を利用しながら、仕事と介護とを両立したい」が64.0%と多数を占める。

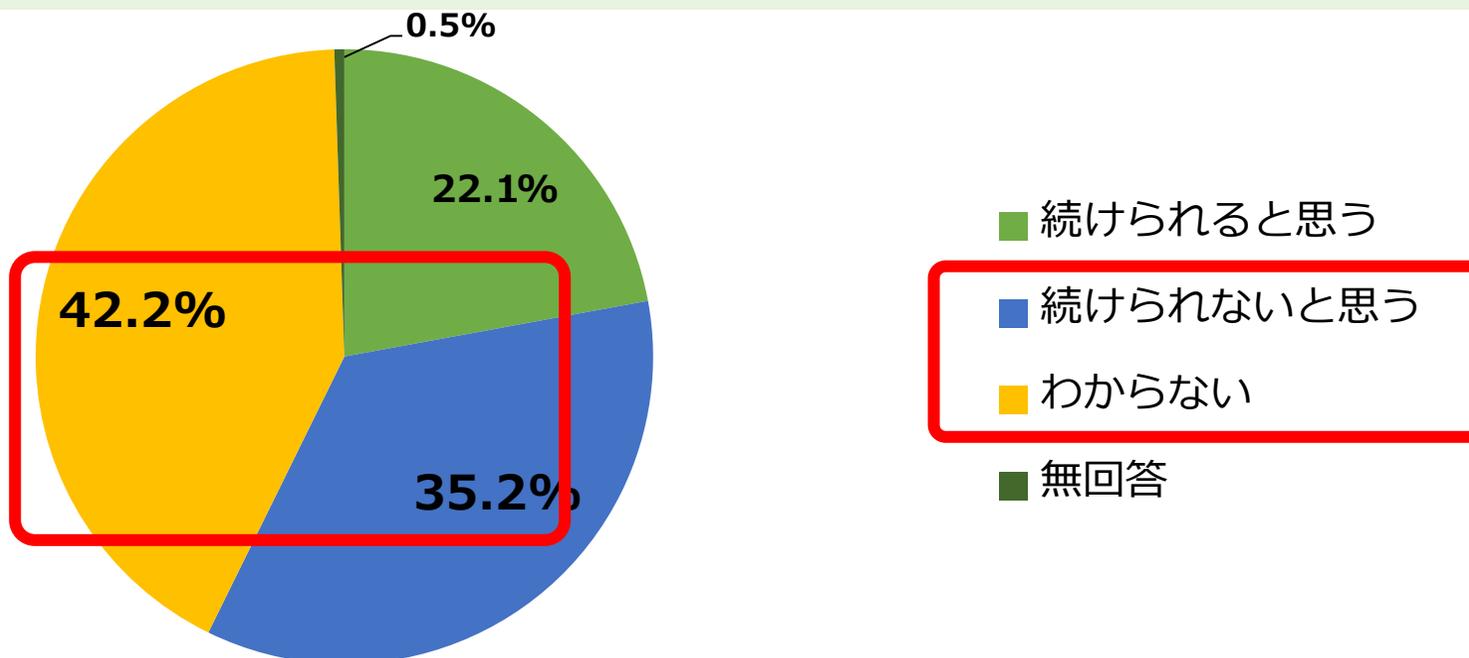
Q：あなたが介護することになった場合、どのような働き方が望ましいと思いますか。

【全員】 単数回答 n=22,582



- 介護をしながら現在の勤務先で仕事を「続けられないと思う」35.2%、「わからない」42.2%。「続けられると思う」は22.1%と少ない。

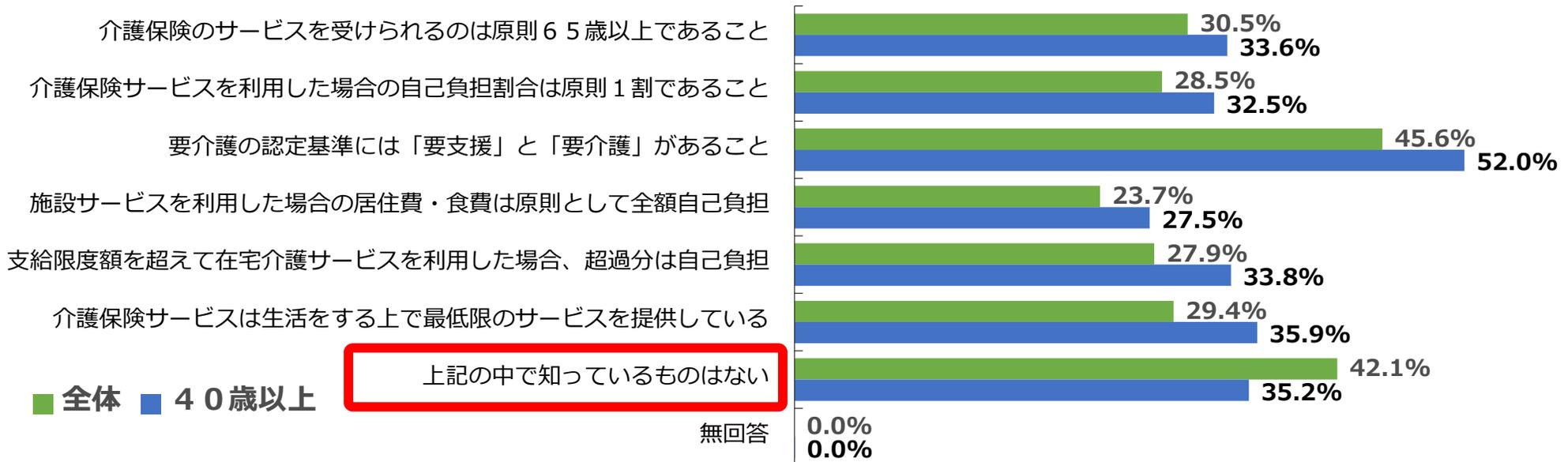
Q：介護をしながら、現在の勤務先で仕事を続けることができますか。  
【現在介護している、将来介護の可能性のある方】 単数回答 n=16,884



# 公的介護保険制度の内容に関する認知度

- 公的介護保険制度の内容について「上記の中で知っているものはない」が全体で42.1%と多い。介護保険を支払っている40歳以上でも3分の1は知らない。

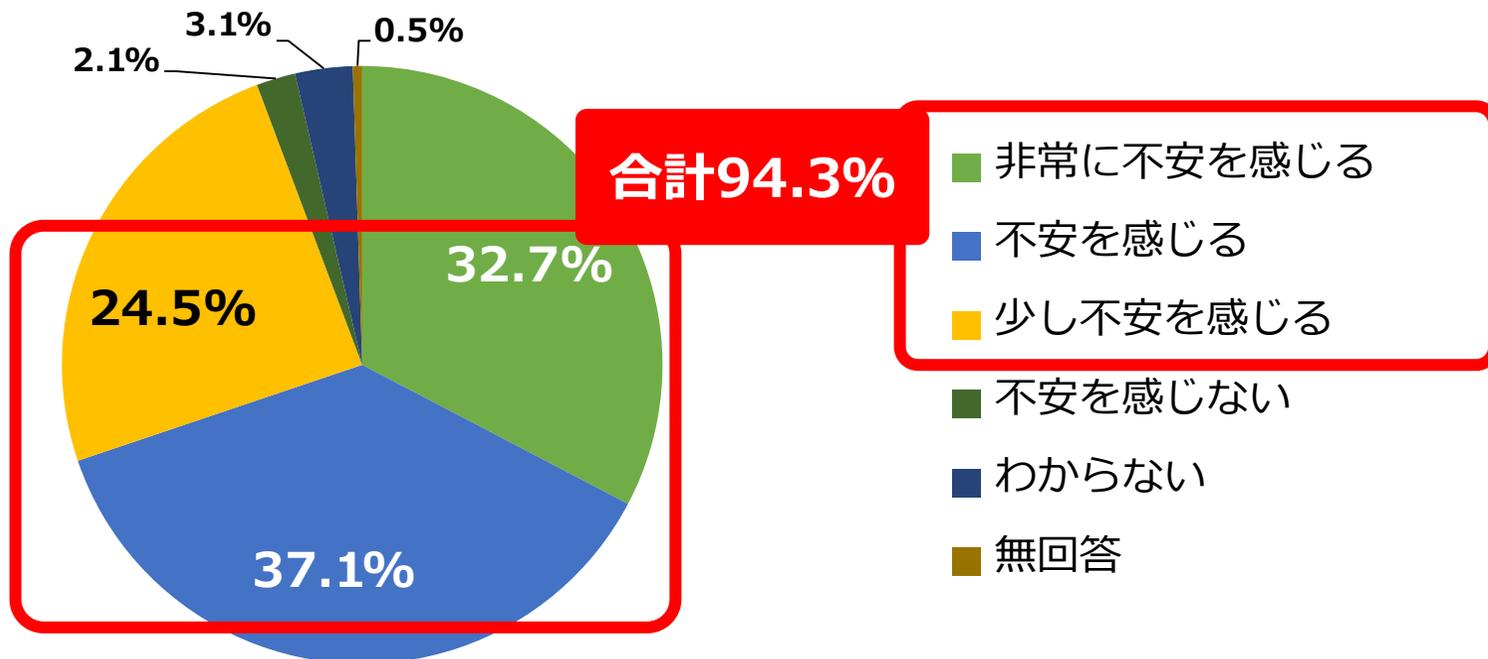
Q：あなたは、公的介護保険制度のことについてご存知でしたか。知っている内容全てをお選びください。【全員】 複数回答 n=22,582



- 「非常に不安を感じる」が3分の1。「不安を感じる」や「少し不安を感じる」を加えると94.3%にも達する。

Q:介護することについて、どの程度の不安を感じますか。

【現在介護をしている、将来介護の可能性のある方】 単数回答 n=16,884

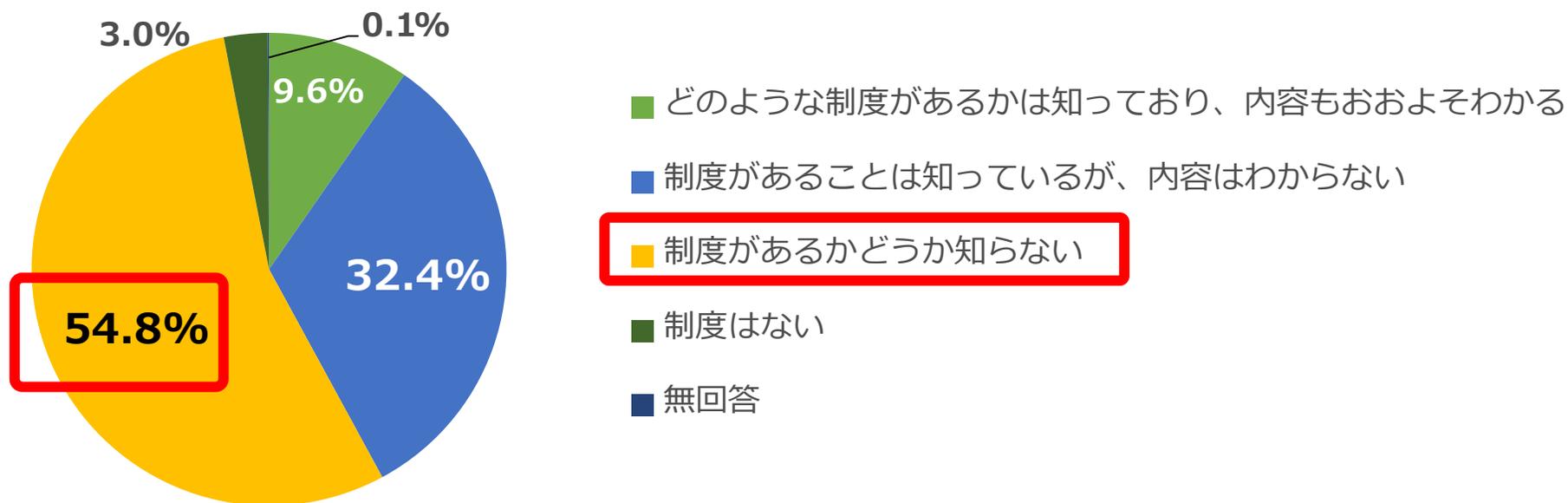


# ① 介護に直面する前の従業員への 支援・情報提供

- 勤務先の両立支援制度について、「制度があるかどうか知らない」54.8%、「制度があることは知っているが、内容はわからない」32.4%と、約9割が制度と内容を知らない。制度の周知徹底が急がれる。

Q：あなたの勤務先の介護に関する支援制度について、どの程度知っていますか。

【全員】 単数回答 n=22,582



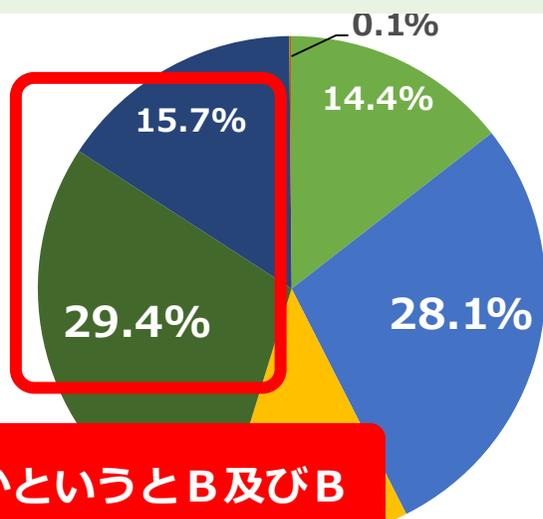
- 介護不安の要因の中で、40%を超えるのは、両立支援に不可欠な制度が「わからないこと」や「見通しを立てにくいこと」に関係している。不安を取り除くには制度や仕組みの情報提供が不可欠。

Q：介護に関する不安は、具体的にどのような不安ですか。該当するもの全てをお選びください。【介護に関して不安を感じる方】 複数回答 n=15,916



- 「B 介護休業期間は介護に専念するための期間」と考えている人が合計45.1%となり、半数近くが誤解している。介護休業は、「主に仕事を続けながら介護をするための体制を構築する期間である」ことを全従業員に周知・共有することが重要。

Q：介護休業に対するあなたの考え方をお聞きします。あなたの考えに最も近いものを選びください。【全員】 単数回答 n=22,582



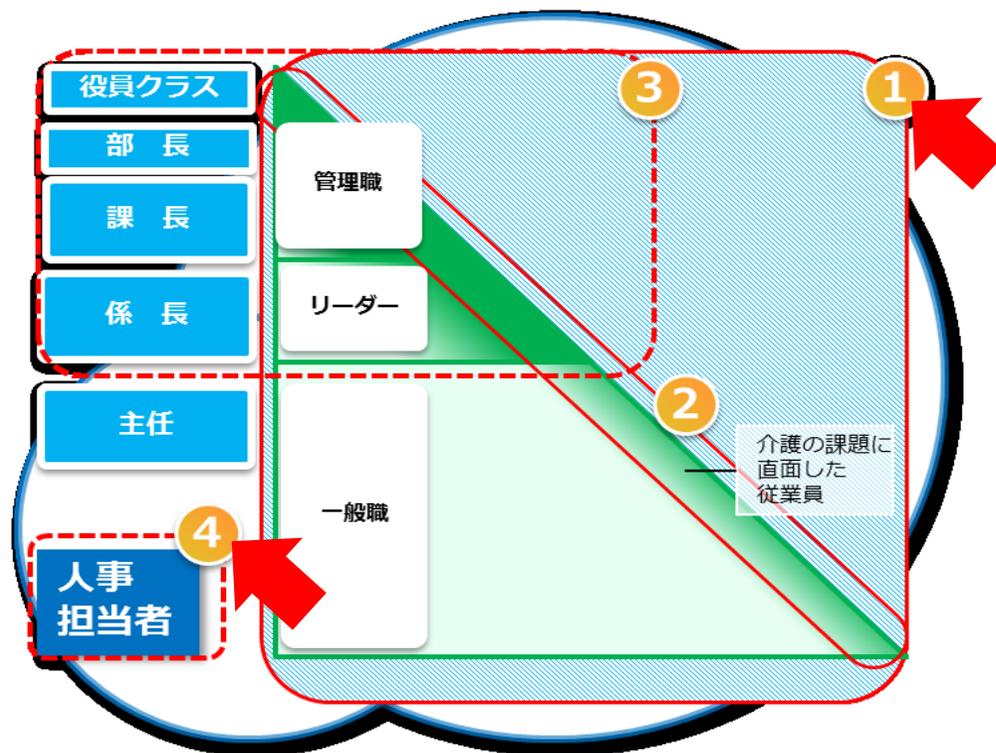
- A 介護休業期間は主に仕事を続けながら介護をするための体制を構築する期間である
- B 介護休業期間は介護に専念するための期間である



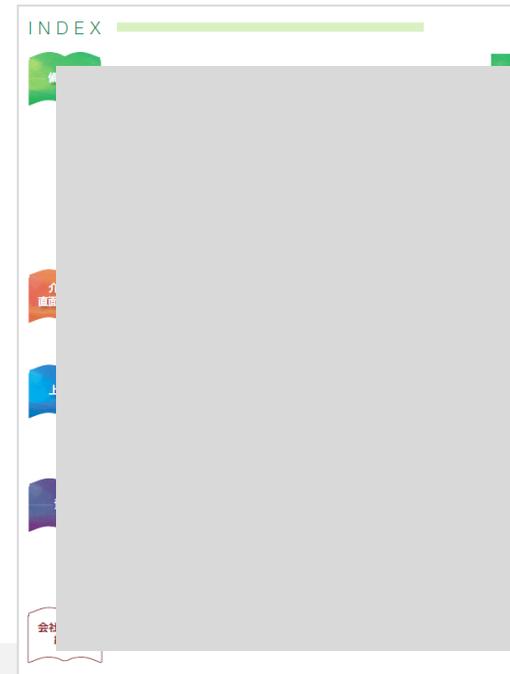
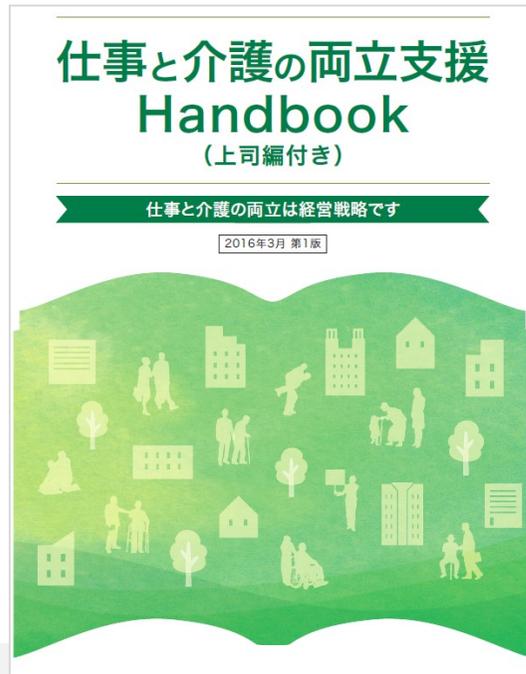
どちらかというともいえない及びB  
の合計45.1%

- セミナー・研修は、「仕事と介護の両立の準備に向けて」、「介護の課題に直面した従業員向け」、「部下の仕事と介護を両立させるためのマネジメント」など目的を明確にして実施する。

全介護時代に向け、お互いさま意識を醸成すると同時に従業員が自発的に情報を入手する習慣を身につけてもらうことが大事。



- ハンドブックの内容として、「備える」「介護に直面したら」「上司編（部下の仕事と介護を両立させるためのマネジメント）」「資料（事前準備シート、上司や人事担当者に相談するコミュニケーションシート、ケアマネに相談する情報提供シート）」は必須。

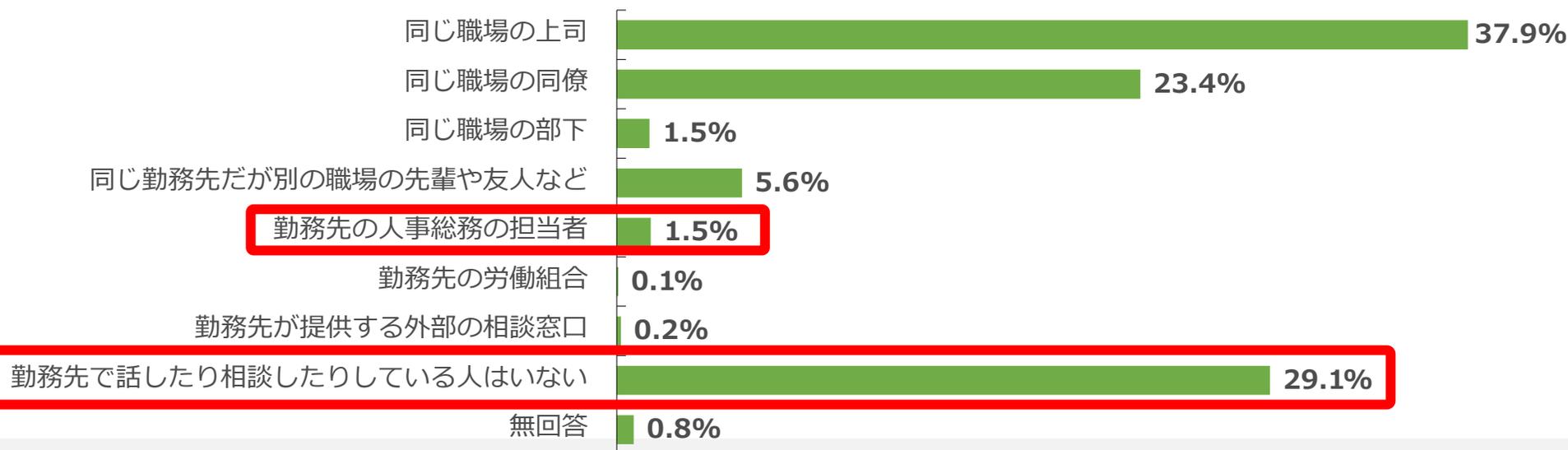


## ② 相談体制の整備は重要

- 「勤務先で話したり相談したりしている人はいない」は29.1%と、一人で抱え込んでいる。相談先は「同じ職場の上司」が37.9%と多いが、「勤務先の人事総務担当者」は1.5%と少ない。

Q：あなたは、ご自分が介護にかかわっていることを、勤務先の方に話したり相談したりしていますか。主に相談等している方についてお答えください。

【現在介護をしている人】 単数回答 n=1,576



- **主な相談先は4つ。仕事と介護の両立に関する相談は、人事部や上司だけでは対応できない。**
  - 勤務先の相談窓口
  - 勤務先が設置する外部の相談窓口
  - 勤務先の上司
  - 地域包括支援センターやケアマネジャー等



- **仕事と介護の両立に関しては、さまざまな相談が寄せられている。**
  - 両立に必要な介護保険制度を人事部に聞いたが、回答が得られなかった。
  - 施設は空きがなく、在宅で介護をする場合、仕事を辞めざるを得ないのか。
  - 親が感染症になり急遽施設で預かれないといわれた。どの施設に連れていけばよいか。今後どのように両立したら良いかわからない。
  - ケアマネジャーから仕事を辞めて介護をするようにいわれる。どうしたらよいか。

- **介護に関しては、下記のような相談が寄せられており、人事担当者では対応が難しい。**
  - 親が多数の病気に罹患しているが、介護の仕方がわからない。
  - 姉弟3人が親を介護している。それぞれ配偶者が介護時間と経済的分担について口出しするため、ストレス状態。この悩みを誰に相談したらよいか。
  - 遠距離介護をしている。状態が悪くなった時、親を呼び寄せるべきかどうか。
  - 親が認知症となり、金銭の借入が不安。成年後見制度を使いたいが、どうしたら良いのか。
  - 義父の介護で大変な思いをしてきたが、私への財産相続がほとんどなく納得がいかない。弁護士を紹介してほしい。

## ● 仕事と介護の両立について相談するときの3つのポイント

- ① 自分自身が仕事と介護を両立したいことを強く伝える
- ② 現在の状況をなるべく正確に伝える
- ③ 両立のための選択肢をできるだけ多く知りたいと伝える



ご清聴ありがとうございました